



古壺新酒

第35号

令和4年6月10日

日本伝統俳句協会
北信越支部長

瀬在光本

題字 安原 葉
ホトトギス同人会長

優雅さに秘めた闘志

日本伝統俳句協会北信越支部長

瀬在光本

子規から虚子へと引き継がれてきたホトトギス俳句を引き継いできた汀子先生がご逝去された。

考えてみると三十五年前に伝統俳句協会を立ち上げた汀子先生の思いは、1913年（大正二年）に碧梧桐の新傾向俳句に異論唱えホトトギス俳句の理念に基づいた俳句の道に生きようと立志した祖父虚子の当時の闘志に重ね合わされる。

〈春風や闘志いだきて丘に立つ〉

伝統俳句協会を立ち上げた思いを次のように語られています。「俳句人口の増加と裏腹に、どんどん俳句の質が悪くなってきたように思う。」

・・・ブームを当て込んだマスコミと、その周辺の商業主義が横行している。このようなことになると、初心者は何を信じて勉強すればよいのかわからない。本来俳句は「季語を大切に、有季定型の花鳥諷詠こそが正しい俳句である」と提唱し伝統俳句協会を立ち上げた思いは、虚子が当時俳句の在り方をただした「闘志」それに重なり合わすことができると思います。汀子先生は優雅な立居振舞の中にもホトトギス俳句の継承と普及に闘志を秘めた俳句人生だったことに今更ながら敬意を感じているところです。

寒牡丹闘志を秘めつ華やぎぬ

光本



一乗谷 朝倉氏遺跡

一乗谷は、越前国守護 朝倉氏が十五世紀後半から約一世紀に渡って本拠地とし、北国の小京都の城下町である。国の特別史跡となり、庭園は国の特別名勝に指定されている。

稲畑汀子名誉会長追悼



汀子先生を偲ぶ

長野県部会長 鈴木しづみ

誰しも命に限りがあることを解っているが、突然に知らされた訃報に大きな戸惑いと、力が抜けていくような感覚に襲われた。汀子先生の存在感の大きさと思う。それと同時に何故かありし日のひとこまが心に鮮明に浮かんできた。ある大会の折私は汀子先生を小諸から高峰高原へご案内した。柳らんや竜胆野菊など夏の終わりの高山植物が霧の中に咲き乱れていた。霧が晴れると、虚子の詠った蓼科が全容を見せてくれた。「虚子が見せてくれたのね。」と汀子先生。その位置からは見えないが「こちらが菅平ですよ。」と私が指差すと、汀子先生は菅平の方向にしっかりと体を向けて、いつまでもいつまでも黙って立っておられた。ラガーでもあったご主人の菅平である。私は声をかけなかった。その時私は俳人ではない一人の女性を汀子先生に感じ、何とも切ない思いだった。宿命というものがあることをしみじみと思った。

出遇い続けるお言葉

新潟県部会長 藤原 哲

令和に入り最初の北信越ホトトギス俳句大会は、長岡で開催された。以前にも新潟で開催された各大

会では、稲畑汀子名誉主宰をご案内する機会に恵まれたこともあったが、いずれの時も温かく、そして優しく接していただいた師の笑顔の記憶があらためて思い起こされる。

「俳句を作るにしても、自然と人間との対話は、心の底から湧き出るもので無くてはならないと思います。」これは、長岡で朱鷺を観察されて率直な感想としておっしゃったお言葉である。

これから汀子師の新しいお言葉やご指導に出遇うことはできないが、しかし大切な言葉、それは何時聞いても初めてのように新しく、そして尊く感ずるものである。これからも句作に際し常にに出遇い続けて行くに違いない。

生前のご指導に衷心より感謝申し上げ謹んで哀悼の意を表します。

師と訪ひし念仏浜の遅日かな さとる

汀子先生追悼文

富山県部会長 荒木かづを

ホトトギス創刊巻千四百号記念祝賀会が、グランプリンスホテル新高輪で盛大に行われたとき、稲畑汀子主宰は名誉主宰になり、新たに稲畑廣太郎主宰が任命され、大きな賛同の拍手で会場がつつまれました。

この祝賀会に特別演奏として越中八尾「風の盆」が呼べないかとの打診があり、準備委員会から企画に参加するなど、大変お世話になりました。

この企画は、「風の盆」の吟行のたびに汀子先生の思い出のページを飾ってきた「風の盆」に纏わる

奇跡的出会いと再会の物語の最終章ともいえるもので、山会の文章でもいくつか触れられて来ました。

中でも、平成二十三年の北信越ホトトギス俳句大会（第三十四回）で「風の盆」を訪れられた際、休憩所となった蕎麦屋少兵衛の奥座敷で、汀子先生のもっとも印象深い、どこまでも蹤いてゆきたく風の盆の御句を色紙に揮毫していただきました。

越中八尾の城ヶ山の虚子句碑とともに富山の宝として護っていきたいと思います。

汀子先生のご冥福をお祈り申し上げます

拓かれし句のみち永遠に飛花落花 かづを

追悼汀子師は伎芸天

福井県部会長 山岸世詩明

日本伝統俳句協会は創立し汀子師が会長、柏翠師が副会長で、私も柏翠の推挙会員となる。

その柏翠も一九九一年九月一日に逝去。葬儀委員長は汀子師の姉中子。実行委員長に私になる。

葬儀には地元関係者、俳人等は県毎にバスを仕立、福井西別院は満堂となり第一部は大本山永年寺盟院、副盟院三名、僧侶二十名で営む。午後は第二部で弔句披講と福井医大の作詞者で古閑裕而の作曲。NHK朝ドラ、エールの主人公。

第一番の客はホトトギスの汀子師主宰である。

地元の名士や会員で満堂。午後は全弔句の披講と福井医大生の学歌の吹奏をして終わる。

汀子師の弔句 悼む、伊藤柏翠先生へ

○俳諧の大きいなる星流れけり 汀子
汀子師第三句集より

○一枚の障子明の伎芸天 汀子
若くて豊満で化粧は天女であり伎芸天である。

○汀子師は障子明の天女たり 世詩明
此に私共はホトトギス、日伝を守ろうではないか。

汀子先生の教え

石川県部会長 伊東弥太郎

令和元年の北信越ホトトギス大会の前夜句会で汀子先生の特選を得た。

露の世に撞き継がるや句梵鐘

長岡市安浄寺の句梵鐘には虚子、年尾、立子先生の句が刻まれており、是非拝見したいと思つて葉先生にお導き頂き訪ねたが、虚子が提唱された「不易流行」を肌で感じた。

翌日の当日句会は夕日の丘公園を吟行し、佐渡のご母堂を偲ぶ良寛に想いを馳せて詠んだ句が汀子先生の特選となった。

霧霽れてゆく見えさうで見えぬ佐渡

両句とも情景だけを詠み心情は吐露していないが、汀子先生にはそれが通じたのではないだろうか。

汀子先生の教えに「言いたいことを全部言わない、ざりざりまで省略すること」がある。先生のご冥福をお祈りするとともに、その教えを大切にホ句の道を進もうと思う。

石川県部会報告

今年度予定

7月1日(金) 石川県部会研修句会

文教会館(予定)

石川県部会研修句会

令和三年度の日本伝統俳句協会石川県部会研修句会は、九月二十四日三十五名が参加して各自芭蕉堂や鶴仙溪、虚子句碑等で吟行し、加賀市山中温泉の社教会館で開催されました。

まず、伊東弥太郎部会長が、虚子が三回山中温泉を訪ねていることに因み「虚子と山中」と題して講演。虚子の

不思議な汝れが踊れば吾が泣く

虚子

よしのやの愛子踊りし部屋ぞこれ

虚子

秋水の音高まりて人を想ふ

虚子

の句をあげて、山中温泉に於ける虚子と森田愛子の関係を語りました。

参加者の一人一句は次の通りです。

苔に置く露の湿りや芭蕉堂

駒形 隼男

露の世に築百余年芭蕉堂

伊東弥太郎

花芒金糸銀糸を紡ぎをり

堀口 紀子

光芒を山へ移して鱒雲

仲谷美枝子

山中に学ぶ大虚子秋深し

大橋美代子

渓谷の景馳走なる秋日和

中川外代子

渓流の日差し眩しき残暑かな

牧野 妙子

虚子句碑のことさら眩し秋天下

村上 秀吾

秋日和順番待ちのだんご茶屋

荒河 一美

突と鳴るからくり時計秋深し

折橋紀世美

桃妖の句碑の過客か昼の虫

梶 未知男

桐一葉更に一葉や峽の黙

梶 弘美

虚子の碑にある黙と云ふ秋の声

上出 洵

この細き枝先に来て赤とんぼ

北七喜美子

苔むすや蕉堂静か秋の風

口出 共子

赤のまま白のままよと翁徑

小島 藍女

黒谷の水の勢も秋の声

木幡 嘉子

秋海棠活けて山中らしき町

寺門 京子

身のすくむ溪より湧きて赤とんぼ

田島 幾子

ヒール音あやとり橋の秋弾む

田島 徳美

幾重にも曲る谷底水澄めり

谷口 寛子

秋の日の木漏れ日遊ぶ芭蕉堂

高橋真理子

隧道を抜けて湯の町溪の秋

出島 達子

秋明菊芭蕉の館際立ちし

中出みつを

秋風や木地剣る音の混ざり来る

野崎 進一

曼珠沙華燃えて我田の道細き

野崎美和子

湯の街へ近道と言ふ刈田原

長谷川敏子

秋めくや風も艶増す出湯町

船曳多鶴子

湯煙の仄と虚子の碑小鳥来る

前山 玲子

師弟像白萩揺らぐ風の中

松本 洋美

今に見る翁の露の頭蛇袋

山城 悦子

絡みつつ浅瀬に遊ぶ秋の蝶

吉本喜美子

芭蕉館までの小径や虫時雨

松浦 彰

天空に縋なす橋や秋涼し

松田 勲

岩肌を滑りて溪の水澄めり

正藤 宗郎

長野県部会報告

実施行事

4月17日：第25回信濃虚子忌句会 募集句(47名 141句)

9月22日：第75回虚子記念嬢捨観月句会 募集句(43名 129句)

コロナ禍の中で句会が開けなかったが投句集作成

今年度予定

4月 第26回信濃虚子忌句会

9月 第75回虚子記念嬢捨観月句会

新潟県部会報告

今年度行事

葉書投句による、代表選者(数名)選による句会。

2022年秋頃

富山県部会活動状況

北信越ホトトギス俳句大会の実施 募集句募集

日時…令和3年9月26日(日)

参加者…長野県26名、新潟県28名、石川県46名、

福井県7名、富山県24名、県外12名

合計143名 637句

概況…令和3年9月26日に北信越ホトトギス俳句大会を富山市に於いて行うべく、十分広い会場の確保や各種予防対策など準備していましたが、新型コロナウイルスの終息が見通せないことから北信越ホトトギス俳句大会も中止せざるを得ない状況にいたり、昨年の長野大会と同様に募集句のみで行うこととなりました。北信越はもとより全国各方面より多数の応募句をいただきました。ありがとうございました。

オンライン俳句会〈汀子先生・廣太郎先生ご参加〉

日時…9月26日(日) 13時より

場所…各自自宅よりオンライン参加

参加者…34名(全国より参加)

概況…はじめての試みとして北信越ホトトギス俳句大会予定日の9月26日に汀子先生および廣太郎先生のご参加の下、オンライン・リモート俳句会を行うことができました。

リモート俳句会では、廣太郎先生が芦屋に行かれるたびに汀子先生のパソコンの環境を見ていただいたり、虚子記念館のスタッフの方や黒川悦子さんのご協力を得ることになりましたが、ZOOMの画面を通して全国の参加者の顔が映し出されると、汀子先生や廣太郎先生からそれぞれにお声掛けいただき和やかな雰囲気です。リモート俳句会を進めることができました。

コロナ禍で外出自粛を余儀なくされるという環境ではありましたが、全国各地の方々の募集句をいただいたり、リモート句会を通して広く交友できたことは大変よかったですと思います。

富山県俳句連盟事業への参加

県俳句連盟ホームページに「虚子」はいく掲載

俳句…「立山のその連峰の雪解水 虚子」

句碑…南砺市新町 「西源寺」

写真…神通川から立山連峰を望む景色

<https://e-platform.org/course/index.php?categoryid=51>

オンライン俳句会への参加

富山県俳句連盟オンライン俳句会に参加

令和2年12月より毎月開催(第一日曜日)

とやまホトトギス俳句会より7名参加/全16名中

俳句会結果…

<https://e-platform.org/course/view.php?id=96>

文芸散歩への投稿

北日本新聞社「文芸散歩」への投稿

約1回/月

<https://e-platform.org/course/view.php?id=88>

富山県俳句連盟合同句集への参加

富山県俳句連盟合同句集(第46集)に作品掲載

とやまホトトギス俳句会より10名参加/265名中

各15句

俳句講演会への協力・支援

第35回滑川市俳句大会で講演

日時…令和3年11月27日(日)

会場…滑川市博物館

演題…「俳句づくりの環境と進化と深化」

講師…荒木かづを

参加者…45名(内とやまホトトギス俳句会12名)

令和4年度事業(計画)

「虚子」に学ぶ初心者俳句教室：講演会

日時…令和4年5月8日(日)

会場…富山市民交流館/富山市新富町C i C i B

ル3F

演題…「初心者 俳句の学び方」

講師…荒木かづを

主催…とやまホトトギス俳句会/日本伝統俳句協

会 北信越支部協賛

後援…北日本新聞社

初心者俳句会

日時…令和4年6月26日(日)、7月17日(日)

予定

会場…富山市民交流館/富山市新富町C i C i B

ル3F

演題…「初心者 俳句会」

主催…とやまホトトギス俳句会/日本伝統俳句協

会 北信越支部協賛

後援…北日本新聞社

県俳句連盟オンライン俳句会への参加(月例)

富山県俳句連盟オンライン俳句会に参加

開催日…毎月開催(第一日曜日)

事務局…日程・進捗・登録管理など

参加者…とやまホトトギス俳句会より7名参加/

全16名中

県俳句連盟「文芸散歩」執筆・掲載

北日本新聞紙上「文芸散歩」への投稿

掲載日…約1回/月

県俳句連盟事業への参加

総会・春季俳句大会…6月4日(土)

夏季吟行俳句会…7月18日(海の日)

秋季俳句大会…10月1日(土)

それぞれ幹事として参画



日本伝統俳句協会・北信越支部WEB会報の運営と更新



公益社団法人 日本伝統俳句協会
ASSOCIATION OF JAPANESE CLASSICAL HAIKU

・北信越支部・WEB会報

サイトアドレス (URL)
https://575web.com/



QRコード
(スマホ可)



キャッチフレーズ：北信越支部・WEB会報/日本伝統俳句協会/
有季定型/ホトトギス俳句/俳句入門講座/花鳥詠/客観写生

- ホームHome
- お知らせ
 - ご挨拶
 - イベント案内
 - (各地)
- 支部活動
 - 石川
 - 新潟
 - 長野
 - 富山
 - 福井
 - 北信越共通
- ギャラリー
 - 思い出の一句
 - 俳句つれづれ
 - 北陸の句碑案内
 - 子ども俳句
 - WEB句集
 - 春の季語写真
- リンク
 - 日本伝統俳句協会
 - ホトトギス
 - NHK俳句
 - 俳人・現代俳句協会
 - WEB句集
 - フランス堂書店
- 入門講座
 - 俳句入門講座
 - /協会HP など
 - 俳句教育
 - 入門講座く小3
 - 子どものはいくく
 - 俳句入門講座申込
- お問合せ・お申込み
 - ご意見・ご要望
 - パスワード申込

北信越支部



最近の投稿
カテゴリー
プロフィール

● 令和元年(昨年)六月発行に北信越支部の会報がそれまでの「北信越」から新しい題名の会報「古壺新酒」に改訂されましたが、これを受けて富山部会の活動としてこの会報のWEB化を試みました。

● 実際の使い勝手について、皆様からのご意見を取り入れながら改良していきたいと思えます。WEBメニューのお問合せ・お申込みからご意見をいただければ事務局に届くようになっていきますので、ご協力をお願いします。

● WEB会報の特徴

- ・速報性：イベント開催後の速報を掲載・発信でき、若い世代にも俳句の面白さを発信できる。
- ・公開性：会員以外にもイベント・句会等情報発信でき、俳句会に入り易くすることができる。
- ・名刺代わり：WEB会報案内の葉書を不特定多数に名刺代わりに配布し広く普及することができ。
- ・経費削減：WEB会報の運営は編集者がWEB技術をマスターすることで編集の経費が削減できる。

● など、WEB活用でのメリットが大きいものと思われま

日本伝統俳句協会北信越支部 令和三年思い出の一句

新潟

薫風や農道走る陸上部
何事も無きが幸せ鯛雲
蛸やシャッター閉するてふ老舗
秋雲の真中へ垂らす釣の糸
露けしやふるさはと墓残るのみ
住み馴てこも故郷天の川
去年の菓の補修に積みし春の泥
空低く来る洛北の時雨雲
惜春の鐘の余韻や野へ山へ
絵踏せず刑のがれ着く奥越後
新茶汲みまた読み返す虚子俳話
稽田や雨水のひかる轍跡
宙に舞ふ春一番の鴉かな
声援も応援歌も無き運動会
その中に母似の菩薩堂涼し
日々自肅心を癒やす庭若葉
五百坪終はりなき庭の草取
杜氏来る靴に田泥を付けしまま
暑き日や鍛冶の手元の塩の皿

富山

雪吊りの流れ作業の美しき
春光の中よりブルーインパルス
麻のれん造酒屋の嘉永より
機町饅頭すぐ売れ針歳暮
鶯の来る庵の囲解く

小川 則子
大矢あきこ
関口 智実
藤原 哲
佐藤 文子
富井千鶴子
小川のおこ
安原 葉
安井 里子
青木福太郎
笠原佐千子
桑原 幸子
内藤 孝
桑原たかよし
板垣 柳子
富永 麻子
藤井 敏子
田代 草猫
林 惣峰

石川

一水の影絵写し絵花菖蒲
竹皮を脱ぎて一途な向上心
集落を明るく照らす蕎麦の花
生木裂くとは雪折れのこの有様
どうさばくボール見つめる夏ゴルフ
一息のながながしかな谷渡り
裸婦像のテーマは対話秋の風
呼ぶ声も応ふる声も花野より
虫の宿には余るほど草伸びし
山一つ動かしてゐる青嵐
こし方や盆梅に実の結ぶまで
ずぶ濡れに負けを認めぬ水鉄砲
欄干に腕重ね見ゆ遠花火

雑木山逆立ててゐる青嵐
撃たれたる熊とて穴に入りたきに
雨露を乗せて牡丹満開に
道路より目と鼻の先栄螺舟
壁伝ふ風の行方に糸瓜蔓
底紅のぬっと見えたる厨窓
一人居て二人と思ふ盆の月
流れゆく雲鮮明に月の秋
何度でも潜ってみたき花の門
竜神のかけ上りたる神の藤
一筋の川春光の中にあり
病窓に真夜の春灯まばらなる
太陽を見ぬまま夏至の日の暮るる
学舎を偲ぶ老幹葉ゆる
ひとり居に慣れて緋く赤句の秋
聞き流す事も介護や木の葉髪
やうやくの外出の朝の寒卵
ふる里の秋を炊き込む胡坐鍋

田上真知子
藤田 百生
坂本 雪峰
稲田 節子
坂井一二三
畑中 節子
宇波可津志
荒木 陽子
荒木かづを
片桐 久恵
佐野 臯月
岩崎 晃嗣
武田 律子
大橋美代子
谷口由美子
浅井 和子
宮下 末子
中田 康子
吉田みはる
中村 曜子
鈴木 恵子
中川外代子
松下 薫
八百 恵子
瀬古 祥子
荒谷みえ子
金子 慶一
澤野 和子
石名坂房枝
篠島 安子
橋本 正乃

サングラスかけ別人に成りすまし
 今日の日の為の丹精薔薇の客
 一山を占めゆく勢ひ今年竹
 かなかなにかなかな応ふ峡の墓地
 御遠忌を修し矜恃と春愁と
 飛ぶための日和も連れて鳥渡る
 虚子館へ散る花を浴び惜みつつ
 実梅落つ音の堅さに見上げたる
 学成りてもどる古里星涼し
 師を偲び多々ある思ひ桐一葉
 新涼の風過ぐ森の息つかひ
 わが母のみごとさばきし初鰹
 心耳もて聞く虚子の声秋の声
 内定に夢を広げて卒業す
 歩にまかせ時を忘れて花の径
 母の日や母を偲びつ喪にこもる
 眺望の海も我が町風光る
 籠居を解き新緑の街遊歩
 新しく袖通したる絹袷
 観桜に徹して巡る旅ひと日
 灯笼の裾にひろがる苔涼し
 晩鐘の余韻の永き春夕べ
 昨夜の荒払ふ青空春立ちぬ
 秋冷の心地よきとて侮れず
 夕星の綺羅に目覚めて咲く黄菅
 亡き夫の瑞宝章や風光る
 旦過の灯落ちて一山月高し
 積み上ぐる木地椀白し秋の風
 手に受けて仄かに匂ふ春の雪
 コロナの世しばし遠ざけ初夏の海
 万緑や峡のトロッコ見え隠れ
 島の道カーブばかりや霧深し
 懸大根滴る水の白さかな

平田 えみ
 折橋紀与美
 坂下 成紘
 牧野 妙子
 堀口 紀子
 松本 松魚
 辰巳 葉流
 辻 文江
 水上 栄
 岸本佐紀子
 村本寿美枝
 宮田也寸子
 伊東弥太郎
 水橋眞智子
 西 登美枝
 松本 寿憲
 向 佐子
 中村 珠栄
 梶井より子
 松本 慶子
 村中 久恵
 矢木 桂子
 岩本 松江
 東 澄子
 村上 秀吾
 熊野 雅子
 長徳谷とし
 出島 達子
 堀口 道子
 永井佐和子
 広島 明臣
 田辺 国和
 松田 勲

懐旧の学舎残る里の秋
 抽出の奥の函の桜貝
 百歳の母の旅立ち春日燦
 鯛や風の手触りひんやりと
 深閑として老鶯の比喩の宮
 水底に緑沈めて瀬の早し
 更けてゆく闇の底より田鴨鳴く
 いつとさの日差尊し雪を掻く
 降り隠すこの道ゆくや三角草
福井
 一陣の風に鶯草総立ちに
 梅雨の月しきりに雲をくぐりけり
 生き難き女が一人近松忌
 籐椅子が知る一族の幼き日
 哥川忌を修すホ句人三国へと
 梅雨じめり触れて確かむ三の糸
 秋の川父祖の世に触る親柱
 栄枯知る一乗谷の大夏木
 聞き捨てることも情愛おでん鍋
長野
 淡き雲光集めて牡丹の芽
 種おろし遙かアルプス真白なり
 夏の走トバズ色の日を浴びて
 実齢を十若く生き冬の虹
 問はるれば幸せですと花檀子
 副葉は紅葉いっさい塩むすび
 アルプスを見つつ朝練草萌ゆる
 複雑な五輪開幕夏の月
 清水湧く波紋をくずし崩しては
 接種終へ快晴一日柿若葉
 亡き夫に手向く新茶の甘さかな

仲谷美枝子
 松室美千代
 赤島磨智子
 辻 美智子
 松本 洋美
 松本 洋美
 宮前はやを
 野村 玲子
 坂本 雪峰
 多田みす枝
 山岸世詩明
 村上 雪
 奥 清女
 高畑 和子
 木幡 嘉子
 岸本 幸子
 田野井かつを
 中山 昭子
 宮澤 正
 小池 保子
 勝山 學
 瀬在 光本
 鈴木しどみ
 西澤ひろみ
 佐藤ゆきな
 清水 順子
 川崎 繁子
 牧野 菊生
 田中 延子

パンの香の染むる仕事着春隣
 秋灯旧姓添へる手紙かな
 馴染みたり母の形見のカーディガン
 落ち蟬の一声残し飛んで行く
 主語のなき妻の話や麦の秋
 せせらぎも光放ちて二月尽
東京
 姨岩にやつと立ちたり小春空
群馬
 禅僧の鐘打つ音や古代蓮
 丸山 ま美
 松本れい子
 清水 節子
 宮澤 澄明
 井出 節子
 西本 ゆき
 野口 昭子
 吉田 洋子

募集 私の一旬

同封の郵便はがきに記載の上、九月末まで
 に次へお送りください。
 ○宛先 〒93010241
 富山県中新川郡立山町道源寺
 831211
 荒木かつを 宛

お知らせ

●第45回北信越ホトトギス俳句大会
 ご案内
 ※大会は中止
 兼題句募集
 兼題 五・六月期雑詠
 締切 令和四年六月三十日(木)
 投句先 田野井 かつを方大会事務局

日本伝統俳句協会北信越支部役員会報告（書面決議）

下記全案件につきまして令和4年度全会一致で承認されました。

- 第1号 令和3年度事業報告・決算報告について（会計監査報告）
- 第2号 令和4年度事業計画（案）・予算（案）について
- 第3号 役員改選について
- 第4号 ホトトギス北信越俳句大会開催について（当番県 福井県）
- 第5号 令和6年度全国俳句大会について（当番 北信越支部）

日本伝統俳句協会北信越支部決算及び予算

（自 令和3年4月1日～至 令和4年3月31日）

1. 一般会計

（単位：円）

令和3年度決算			令和4年度予算	
収入の部			収入の部	
項目	決算額	備考	予算額	備考
前年度繰越金	716,641		889,569	
利息	3		3	
運営協力金	613,000	2000円×306.5口	600,000	
合計	1,329,644		1,489,572	
支出の部			支出の部	
協力金振込手数料	28,655	ゆうちょ銀行払込	30,000	ゆうちょ銀行払込
会報発行費	157,662	会報34号発行	150,000	会報発行
事業報告会及び研修会費	150,000	各県部会へ補助金 ^(注)	150,000	各県部会へ補助金
事業協力費	10,000	姨捨句会	20,000	姨捨、山中、敦賀等
会議費	-		200,000	役員会等
情報関連費	-		50,000	WEB会報費用
事務費	83,758	郵送料ほか	90,000	郵送料ほか
予備費	10,000	入会補助金2名	50,000	入会補助金
小計	440,075		740,000	
次年度繰越	889,569		749,572	
合計	1,329,644		1,489,572	

（注）各県部会への内訳は、新潟3万円、長野3万円、富山2万円、石川5万円及び福井2万円の計15万円である。

2. 記念事業積立金

一般会計とは別に全国俳句大会準備金等として 1,500,235円積立

日本伝統俳句協会北信越支部役員

役職	氏名	所属県	役職	氏名	所属県
顧問	安原 葉	新潟県	事務局長	牧野 菊生	長野県
顧問	藤浦 昭代	石川県	副事務局長	宮澤 正	長野県
顧問	駒形 隼男	石川県	会計担当	勝山 學	長野県
支部長	瀬在 光本	長野県	副会計担当	井出 節子	長野県
副支部長兼長野県部会長	鈴木 しどみ	長野県	会計監査	大城 玲子	富山県
副支部長兼新潟県部会長	藤原 哲	新潟県	会計監査（新任）	大橋 美代子	石川県
富山県部会長	荒木 かづを	富山県			
福井県部会長	山岸 世詩明	福井県			
石川県部会長（新任）	森田 康夫	石川県			

日本伝統俳句協会 北信越支部への協力金 〔令和三年度〕 〔二〇二千元〕

ご芳名および口数 五十音順・敬称略

- (10口) 西田さい雪・西田梅女
 (6口) 宮田也寸子
 (5口) 荒木かづを・板垣柳子・勝山 學・
 駒形隼男・鈴木しどみ・瀬在光本・
 村中久恵・安田畝風・安原 葉・
 安浄寺勉強会
 (3口) 富井千鶴子・中村曜子・矢木桂子・
 山岸世詩明
 (2・5口) 赤島摩智子・飯貝恵秀・
 今井芳子・岩城未知・大橋美代子・
 奥 清女・小池保子・富永麻子・
 長徳谷とし・仲谷美枝子・野村玲子・
 橋詰シズエ・広島明臣・藤原 哲・
 堀口紀子・牧野菊生・松本慶子・
 松本松魚・森田康夫・桑原たかよし・
 田野井かづを
 (2口) 大久保雪子・伊東弥太郎・小川則子・
 笠原佐千子・片桐久恵・川口俊子・
 川崎繁子・坂井一二三・関口智実・
 辰巳葉流・辻美智子・中川外代子・
 中村珠栄・西本ゆき・牧野妙子・
 宮澤 正・横町陽子・吉田みはる・
 荒谷みえ子

(1・5口) 青木福太郎・浅井和子・

- 有川 寛・石名坂房枝・井出節子・
 榎本清津子・大矢あきこ・小川のぶこ・
 折橋紀与美・岸本佐紀子・北川まつ子・
 熊野雅子・桑原幸子・坂下成紘・
 佐藤文子・佐藤美春・佐藤ゆきな・
 清水順子・鈴木恵子・鶴見昭子・
 西登美枝・藤井敏子・藤田暁夫・
 藤田慎一・松室美千代・水上 栄・
 宮下末子・向佐ち子・村上秀吾・
 村上 雪・安井里子・山口霞牛
 (1口) 稲田節子・岩崎晃嗣・岩島照子・
 岩本松江・上田千鶴子・上村みどり・
 大岸敬明・岡山幸子・小幡道子・
 梶井より子・加藤公男・金子慶一・
 金箱一世・岸本幸子・北川越草・
 小泉いく子・木幡嘉子・小林貞子・
 小林つくし・坂本雪峰・佐野皐月・
 澤野和子・篠島安子・清水 哲・
 清水節子・瀬古祥子・島三枝子・
 田中延子・高城玲子・田上真知子・
 武田律子・田代草猫・多田みす枝・
 田辺国和・谷口由美子・為永香月枝・
 辻 文江・出島達子・内藤 孝・
 永井佐和子・中田康子・中山昭子・
 西川 忠・西澤直子・西澤ひろみ・
 西野久仁夫・野口昭子・橋本紀美子・
 橋本正乃・畑中節子・林 惣峰・
 早瀬貞子・東 澄子・平田ゑみ子・

- 堀口道子・堀なでしこ・本田輝代・
 本間政幸・松下 薫・松田 勲・
 松本寿憲・松本洋美・松本れい子・
 丸山ま美・三島由紀子・水橋眞智子・
 宮澤澄明・宮前速男・宮村啓子・
 村本寿美枝・八百恵子・山井きなこ・
 山口やすか・吉澤 萌・吉田洋子



お願い

北信越支部への協力金

昨年も多くの方に協力いただき御礼申し上げます。北信越支部の活動資金は皆様の協力金という名の会費に依っています。今年度も同封の趣旨をご理解いただき、絶大なるご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 協力金 一口 二千元 何口でも結構です
- 期日 9月末日
- 振込は 振込用紙でお願いします
- 振込番号 006501613870
- 加入者名 日本伝統俳句協会北信越支部